安東学区
社協だより
第26号
広島市安佐南区安東学区社会福祉協議会　編集　広報委員会

地域あっての安東小学校

広島市立安東小学校
校長　神原久美子

「あいさつは　えがおになる　まほうだね」本年度、安東学区には、二十二学級分の「あいさつ標語」の幟旗が立てられました。

安東学区社会福祉協議会会長　藤本英之様よりこのお話をいただいてから、本校では各学級があいさつ標語について考え、話し合いました。

幟旗が立つとうれしくなり自分の学級の旗を探す児童もいました。

また、地域やＰＴＡの方々には第二水曜日に朝早くから「あいさつ運動」をしていただいております。

そして、登下校の見守りも、雨の日も風の日も児童の安全のために御尽力いただいております。心より感謝申し上げます。

学習面においても、地域の方には、総合的な学習の時間を中心に多大なる御支援をいただいております。

本年度も立派な広島菜ができました。

これはひとえに、地域の方々がこまめに足を運んで育ちの様子を確かめ、肥料を与えるなどお世話をしてくださった賜物です。

十二月に漬け上がった広島菜漬をいただく三年生は、にこにこ笑顔でした。

ありがとうございました。

四年生では、三年前より、学区自主防災会連合会の皆さんが中心となって防災学習に御協力いただいております。

昨年度より、児童が地域の方と共にフィールドワークを行い、実際に足を運んで安東学区の危険な場所を確認しました。

これは、児童にとってよい学びの機会となりました。

また、防災についてのお話もしていただきました。

見たり聞いたり調べたりしたことを、児童は大きなポスター新聞にまとめ、一月末に「防災フェスタ」を開催し、地域や保護者の皆さんに向けて発信しました。

地域の方には、このフェスタの運営についても御支援をいただきました。

ありがとうございました。

また、平和学習では被爆体験を話してくださったり、囲碁将棋クラブでは講師として御指導してくださったり・・・と、地域の方には、本当にお世話になりっぱなしです。

有難いです。

心より感謝申し上げます。

地域あっての安東小学校です。

地域と共に安東っ子を育てていきたいと強く思います。

今後とも本校の教育活動へ御指導・御支援をよろしくお願い申し上げます。

住民主体型生活支援訪問サービスの活動報告

広島市住民主体型生活支援訪問サービスに取り組み始めて３年半になります。

活動の進捗状況と利用者の依頼内容や件数を集計しましたのでご報告します。

安東学区ふれあいセンターでは平成２４年９月から**毎週水曜日・金曜日** 午前９時から１２時まで（年末年始、祝日は除く）電話番号０８２－５２１－４５５９で一人暮らしの高齢者や障がい者を対象に困り事相談やボランティアによる支援活動に取り組んできました。

平成２８年１０月から「広島市の介護予防・日常生活支援総合事業」に参加して安佐・安佐南地域包括支援センターの協力で学区内の要支援１・２の方を含む事業対象者に対して**住民主体型生活支援訪問サービス**を従来の支援活動と並行して実施しています。

住み慣れた地域で自分らしく暮らすためには地域住民同士の支え合いが不可欠です。

ボランティア支援を利用された方へのアンケート調査のご意見や感想には**「好きな庭での作業もボランティアの方の協力で楽しく続けることができます」「高齢で自分にはとてもできないことを依頼通りに片付けてもらい大変感謝しています」**など多くの回答を頂いています。お困り事がありましたら安東学区ふれあいセンターにお電話をお願いいたします。

安東学区地域福祉推進委員　永中　憲成

安東ふれあいセンターへのボランティア依頼内容実績　（令和2年2月20日までの実績）

NO	困りごと依頼内容	H26	H27	H28	H29	H30	R1	総計
1	庭の草取り	0	5	7	23	28	27	90
2	庭木の手入れ	5	4	11	20	24	24	88
3	庭の水遣り	2	3	3	3	3	2	16
4	屋内の修理	1	3	4	3	6	5	22
5	屋外の修理	1	7	2	2	9	13	34
6	蛇口が止まりにくい	0	1	1	1	1	1	5
7	二階のカーテンの交換（高所）	1	0	0	0	0	0	1
8	換気扇の清掃作業	0	2	3	2	4	3	14
9	網戸の張り替え（障子含む）	0	0	4	6	6	11	27
10	電球の交換（修理含む）	0	0	2	5	4	2	13
11	階段の手すり取り付け（トイレ含む）	0	0	3	1	2	0	6
12	買い物代行（交換部品等の購入）	2	3	10	17	14	14	60
13	（資源ゴミ）ゴミ出し	0	0	1	7	7	5	20
14	悩みごと相談	2	3	2	1	1	2	11
15	車椅子の貸出	0	0	3	0	1	1	5
16	パソコン指導				3	3	1	7
	合計	14	31	56	94	113	111	419

（令和2年2月20日までの実績）

依頼者の内訳	H26	H27	H28	H29	H30	R1	
一人暮らしの女性	7	14	16	18	23	28	106
一人暮らしの男性	2	0	3	3	2	3	13
高齢の夫婦	2	4	8	8	5	7	34
合計	11	18	27	29	30	38	153

＊住民主体型生活支援訪問サービス（広島市事業）　（令和2年2月20日までの実績）

（要支援1・2を含む対象者数）			2	6	8	5	21
要支援1・2対象者による依頼件数			7	29	58	50	144

地域で支える意識が大切
「あんしんネット安東」始動

安東学区内の支援が必要な在宅の高齢者等へ近隣住民が見守りや声掛けを行い、高齢者の孤立化を防止し、共に支え合うことを目的に、昨年１０月の発足した高齢者見守りネットワーク事業―「あんしんネット安東」。各町内会・自治会が昨年末にＰＲチラシを各会員宅へ配布し、希望者を募った結果が次表のとおりになりました。

「あんしんネット安東」の現状　**令和2年3月1日現在**

団体名	登録希望者	見守り協力員
すみれが丘自治会	0人	0人
南部山自治会	1	3
鯛之迫町内会	2	1
弘億自治会	1	9
中央グリーンハイツ自治会	11	7
下相田上組町内会	0	0
下相田中組町内会	0	0
下相田下組町内会	0	0
七塚上組町内会	0	0
七塚下組町内会	0	0
スカイハイツ相田自治会	0	0
ビレッジハウス自治会	0	0
社会福祉協議会	0	1
老人クラブ連合会	0	4
女性会	0	7
合計	15	32

登録希望者は１５人。うち中央グリーンハイツ自治会の１１人は、全員見守り協力員とのマッチング手続きも完了。協力員による見守り活動がスタートしました。

今からは民生委員により安東学区内の対象住民の調査が行われるので、各町内会・自治会加入者に限らず登録希望者の掘り起こしができます。町内会・自治会加入者以外の人もこの事業の対象者に加えるためには、登録者数に見合う見守り協力員の確保が必須となります。

「あんしんネット安東」による見守りは、善意の助け合いです。見守り協力員は、本人にとって無理のない程度で活動していただくだけで、見守り対象者の緊急時の対応を主なものとはしていませんし、活動においてはいかなる責任を負うものでもありません。いつものあいさつやさりげない声掛け、対象者宅に電気がついているか、新聞やチラシがたまっていないかなど、普段より少し見守り対象者の様子を気にかけていただくだけでもかまいません、また、月１回程度は見守り対象者と顔を合わせたり、電話で声を聞くなど対象者が自宅で生活していることの確認をお願いします。見守りの中でいつもと違う様子や気掛かりなことがあれば、地域包括支援センターまでご連絡ください。

地域のコミュニティーが充実しているかどうかが問われるのが令和の時代。多くの見守り協力員の応募を期待しております。くわしいことは、各自治会・町内会長か**広島市安佐・安佐南地域包括支援センター**（TEL 082-879-1876）まで。

安東学区社会福祉協議会　副会長　竹本　久男

下相田中組　会員数減が最大の課題

私たち町内会は、その加計往来と呼ばれた街道沿いにあり、先祖から住み続けている世帯と新しく転入された世帯が混在しています。

そのため古くからの伝統を受け継ぎながら、現状に対応するように努めています。

伝統行事は、①春の町内会一斉清掃　②萩尾山神社の祭りを応援　③年末防犯パトロール

④新年会を継続実施しています。

祭りの夜、神楽当日は準備から深夜の終了時まで町内の皆さんに協力いただいています。

児童の見守り、いきいき百歳体操への参加促進を始めたところです。今後、高齢化が進むので、「あんしんネット安東」の推進を図り、町内の助け合いを進めていきたいと思っています。

お隣さんと融和し、それが町内会全体に広がればさらに住みよい町になるでしょう。

高齢になられた方の町内会脱退や、若い世帯の未加入で年々会員数が減少しているのが最大の課題です。

下相田中組町内会　会長　藤原　直之

中央グリーンハイツ「あんしんネット安東」の取り組み

令和２年２月１３日までの集計

登録者　１１人　　見守り協力者　７人

昨年１２月１３日社協理事会のおいて、安佐・安佐南地域包括支援センターによりパンフレットを頂き、翌１４日に回覧配布。

始めは反響も無く、こんなもんでしょうと思っていました。慣れない仕事で、面倒は遠慮したい・・それが本音。

ところが後日自宅のポストに見守り協力の申し出書類が入っており、慌てることになった。

登録者を本気で探さなければ・・懇意にしている女性７８歳のＫさんに「自治会でこんな取り組みを始めました。あなたも登録しませんか？」「良いわよ」本人も納得され、登録いただき第１号ゲット。

年末２９日集会所で知り合いの男性７０歳のＭさんに会い、「貴方はどうですか？」本人はまだ元気だから宜しいとの返事を頂きました。

年が明けた１月９日、区長よりＭさんが見当たらない、電気、テレビはついたままだと報告が有り、私が出向き窓から屋内に入りトイレで死亡しているのを確認。消防、警察に通報。死後１０日近く経過し、腐敗も進み痛ましいお姿でした。

老人の間で動揺が起き、口コミで自治会がこんな活動をしていると広がり、登録申し込みが急増しました。

問題発生、見守り活動を身近の世話をしてくれると勘違いされ、何かと用事を頼む事案が起きました。

十分な説明と理解を得られるよう、気を付ける必要があります。

中央グリーンハイツ自治会　会長　木多　善三